

## 1年生「情報モラル教室」を実施しました！

本校では5月にも全校生を対象に「情報モラル教室」を実施しましたが、全国的に、特に中学校1年生がSNSなどのインターネットを通じて犯罪に巻き込まれる事件が増加していることから、3月4日（月）に、あらためて1年生を対象に、東播少年サポートセンター山口広太郎所長にご指導いただきました。

令和4年に、犯罪被害者となった少年は1,732人で、中学生が42%を占めています。X（ツイッター）による被害が最も多く、優しい言葉をかけられて自撮りした写



真を送らされて脅された事件や、送った写真に写っている制服や背景から個人を特定されてストーカー被害に遭った事件、悩み相談として優しい言葉をかけられて実際に会って殺害された事件などが実際に発生しています。

また、友だちのわいせつ画像をラインで拡散し逮捕された中学生がいること。その他、ネット上での誹謗中傷や、ネット上での悪ふざけ、闇バイトなど、SNSによる事件やトラブルが多発しているという話もありました。

最後に、DVDで、中学生がSNSで知り合った人に写真を送ったことがきっかけでストーカー被害に発展した事例を見ました。中学2年生になると年齢が14歳になります。山口所長から「少年法では逮捕される年齢になるので、自覚を持った行動と責任が求められる。」という話もありました。お子様がスマホなどを持っている場合は、トラブルや事件に巻き込まれることがないように、ご家庭でも注意喚起をよろしくお願いします。

